

合格体験記執筆について

この度は、国家総合職試験 内々定おめでとうございます。TAC 公務員講座講師・スタッフ一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、今年も内々定者の方にご協力いただき、これから国家総合職受験をお考えの方へ向けた『合格体験記集』作成し、TAC・W セミナー ホームページ上に掲載したいと考えております。合格体験記はこれから公務員試験合格を目指す多くの受験生にとって貴重なレポートになることはもちろん、日々の努力の積み重ねによって見事目標を達成された皆様の『自分史』にもなります。お忙しい中とは存じますが、ぜひこの機会にご自身の合格までの道のりを体験記にしたためていただければ幸いです。

対象者

国家総合職本科生で、2021 年度秋試験または 2022 年度春試験で最終合格された後、
官庁訪問で内々定を取られた方

執筆に必要な以下のアイテムを確認してください。

- 【封入物一覧】
- ① 合格体験記執筆 & 提出ガイド ⇒ 本案内状です。必ずご一読ください。
 - ② 書式（Word 形式のテンプレート） ⇒ 体験記執筆の際にご利用ください。
 - ③ 書式 SAMPLE ⇒ 体験記執筆の際の参考にしてください。

- 書式（テンプレート）は下記 URL からダウンロードしてください。

→ https://www.tac-school.co.jp/file/w-seminar/koumuin_sougou/22kokusou_taikenki.zip

合格体験記の謝礼について

- 【 謝 礼 】 ● 合格体験記 + 体験記執筆者 Web アンケート + 顔写真
→ **¥5,000** 分の「選べる e-GIFT」を進呈

- 【上位合格者賞】 ● 最終合格順位 1 位～7 位の方

※全区分対象です。最終合格順位が1～7位の方で、合格順位付きでの掲載をご了承いただける方のみ対象となります

→合格体験記の謝礼とは別途で、**¥5,000** 分の「選べる e-GIFT」を進呈

※該当の方は、順位が分かる証明書（合格通知書）の写真をメールでお送りいただくか、コピーを返信用封筒でご郵送ください。

【謝礼の送付】 合格体験記の謝礼及び上位合格者賞の「選べる e-GIFT」は、**2023 年 1 月頃に合格体験記提出時にお送りいただいたメールアドレス宛にお送りする予定です**。なお、提出物に不備がある場合・情報量が極端に少ない場合は、謝礼の送付を見送らせていただく場合があります。

【謝礼の詳細】



選べる e-GIFT から、お好きな電子マネーギフト（ANA SKY コイン、Amazon ギフト券、nanaco ギフト、すかいらーくご優待券など）を 1 つお選びいただけます。



※謝礼の送付は TAC 株式会社による提供です。謝礼についてのお問合せは Amazon ではお受けしておりません。TAC 公務員講座事務局 0120-555-962 までお願いいたします。

※Amazon、Amazon.co.jp およびそのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※「nanaco(ナナコ)」と「nanaco ギフト」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※「nanaco ギフト」は、株式会社セブン・カードサービスとの発行許諾契約により、株式会社 NTT カードソリューションが発行する電子マネーギフトサービスです。

※すかいらーくご優待券は、すかいらーくご優待券サービス(<https://www.skylarkyutaiken.com/>)よりご優待券番号(英数字 9 桁)を入力し、バーコードを取得していただく必要があります。表示された画面をレジにてご提示ください。パソコンでご利用の場合はバーコードを印刷し店舗までご持参ください。

※選べる e-GIFT についての詳細は選べる e-GIFT ホームページ(<http://www.anac-gift.com/use/>)にてご確認ください。

以上

合格体験記 執筆&提出ガイド

□ 1 合格体験記原稿の“執筆”について

【執筆方法】 原則として、Microsoft Office の Word を使用してご執筆ください。

➡書式(Word 形式のテンプレート／TAC 国家総合職講座ホームページ掲載)をご利用ください。

※Microsoft Office の Word をお持ちでない場合は、その他の文章作成ソフト(メモ帳を含む)をご利用ください。

【文字数】 1,800 字以上 2,500 字以内 ※文字数の下限に達していない場合は謝礼対象外となります。

【執筆内容】 下記のテーマ一覧からご選択(一部必須あり)いただき、ご執筆ください。

テーマ一覧	必須 (必ず書いてください)	選択 (2～4つ選択して書いてください)	
	<ul style="list-style-type: none">●国家総合職を目指した理由・キッカケ●TAC・W セミナーを選んだ理由・良かったところ●所属校舎または講師のおすすめポイント●これから受験する人へアドバイス●合格ドキュメント	<ul style="list-style-type: none">●教養試験対策●専門試験対策●政策論文試験対策●政策課題討議対策●企画提案試験対策●面接・官庁訪問対策	<ul style="list-style-type: none">●TAC 教材の活用法●効率的学習法●公開模試の活用法●社会人の勉強法●省庁インターンについて●併願について

注意事項

※他社の教材や書籍などのご紹介はご遠慮ください。

※各テーマ、最低限100文字以上の文章をお願いいたします。

□ 2 合格体験記原稿の“提出”について

【募集日程】 2022 年 9月30日(金) ★TAC必着(締切厳守)★ ※なるべくお早めにご提出ください。

【提出方法】 『合格体験記 提出Webフォーム』より、ご提出ください。

①Web フォームに アクセス	https://fs223.formasp.jp/a292/form10/ ➡PC から上記のURL にアクセスしてください。
②Web フォームに 必要事項を入力	合格体験記執筆者Webアンケートにご回答 & 合格体験記の原稿 (Microsoft Office Word) 及び顔写真(データ提出の方のみ)を添付して いただき、「送信ボタン」を押してください。 ※添付忘れにご注意ください。
③顔写真・合格証書の コピーを郵送	顔写真(実物を郵送提出の場合)及び合格証書のコピーなどの上位合格 を証明する書類(上位合格した試験種がある場合のみ)の郵送を希望 される方は、Web フォームから申請し返信用封筒を取り寄せて ください。 ➡顔写真及び上位合格者賞の郵送提出の際の注意事項は裏面参照

～ 裏面に続きます ～

□3 顔写真について

【データを提出】 カラー／背景なし／正面上半身撮影

ファイル名(必須):登録校舎(通信生は通信)／氏名.jpg (必ずファイル名を入力してください。)


→『合格体験記 提出Webフォーム』より、ご提出ください。

※写真実物をスキャニングしたデータは不可です。

※自撮りのデータは不可です。

【実物を提出】 写真の実物をお送りいただける方は、『合格体験記 提出Webフォーム』で申請してください。郵送するための返信用封筒をご住所までお送りします。

※1枚

	縦 4 センチ 〜 4.5 センチ	0123456789 渋谷校 国総 太郎	＜オモテ＞ カラー／背景なし／正面上半身撮影、 (縦)4〜4.5センチ (横)3〜3.5センチ程度のお写真をご準備ください。 ＜ウラ＞ 油性マジックで「会員番号」「登録校舎(通信生は通信)」「お名前」をご記入ください。
横3センチ〜3.5センチ			

→上記の記入が済みましたら、TAC・Wセミナー教育第五事業部返信用封筒に封入してご送付ください。

□4 上位合格者賞の証明書類について (※上位合格者賞対象の方のみ)

【証明書類】 ■証明書類(合格証書など)のコピーが準備できる場合

教育第五事業部返信用封筒に顔写真(実物を郵送提出の場合)を同封してお送りください。

■証明書類(合格証書など)のコピーが準備できない場合

体験記執筆者Webアンケートの「順位の確認方法」の欄に確認方法をご記入ください。

例:窓口にて口頭確認 など

□5 お問い合わせ先

【ご案内】 合格体験記の執筆及び提出方法についてのご質問は、下記のメールアドレスをご利用ください(ご回答までに数日頂く場合があります)。

→お問い合わせメールアドレスはこちら kokusou@tac-school.co.jp

□6 ご案内

※ お送りいただいた合格体験記・Webアンケート・顔写真は、TAC(株)に帰属します。また、ご提出いただいた合格体験記・Webアンケート・顔写真・合格証書などは、返却いたしません。

※ 合格体験記提出後の取り下げは、原則できません。

※ お送りいただいた合格体験記・Webアンケート・顔写真は、合格体験記の他に、TACのパンフレット・ホームページ・ダイレクトメール・ポスターなどの広報物に掲載させていただく場合がございます。また、大意の変わらない程度に加筆修正させていただく場合があります。

※ 編集の都合上、ご提出いただいた合格体験記が掲載されない場合もございます。

※ 提出された原稿に不備がある場合や追加取材のため、電話及びメールにてご連絡をさせていただく場合がございます。

国家総合職 合格体験記

一念発起してからの長い道のり



佐々木 風太さん

DATA BANK

内定省庁	経済産業省
出身校	東京大学 法学部
コース	法律答練本科生
受験区分	大卒程度 法律区分 2位

Q 国家総合職を目指した理由・キッカケ

A 「社会のために」を主眼に働ける

私は1回目の4年生のときに民間就活を行っていたのですが、就職活動を開始するのが遅かったこともあり自己分析も業界研究も不足していて6月頃に後悔が残りました。そこで、就職活動を通じて改めて感じたことも踏まえ自分に問いかけたところ、自分のやりたいことは「この国に暮らす人々をより幸福にしていくこと」だと気づきました。そして、官庁について調べていくうちに「一生を通じてより多くの市民生活に働きかけられるということ」「どこまでいっても私益追求でなく公益を追求する仕事なので社会貢献の思いを持って働き続けられること」といったインパクト・働くマインドの双方の点で心惹かれ、官庁を全く見ていなかったことを後悔し就活留年を決意しました。

Q TAC・Wセミナーを選んだ理由・良かったところ

A 独学の限界、情報と勉強指針

秋の教養区分試験に独学で挑み落ちた反省から、試験の情報をきちんと得ること・勉強の指針を間違えないことの大事さを学びました。そこで、法律区分は二の舞にならないようにしたいと思い、信頼と実績があり友人も通っていて、なおかつ価格も他社と比べて手が届く範囲にあったTAC・Wセミナーに申込みを決めました。実際に通ってみて、一次試験のボーダー点数から二次試験の傾向、果ては人物試験の内容に至るまでの濃密な本試験の情報を得ることができ、万全の対策指針を立てて勉強することができました。

Q 所属校舎または講師のおすすめポイント

A 渡辺講師は熱血漢！

渡辺講師には答練講義から人物試験対策に至るまで手厚いご指導をいただき、本当にお世話になりました。特に、私は行政法が独学では全然身につかず苦手に感じていたのですが、渡辺講師が答練演習を通じて全体を体系的に教えてくださり、また学生が分かるまでとことん親身に質問に付き合ってくくださったので、今まで「点」であった知識がどんどん繋がって「線」になって理解していく感覚を肌で感じ、「行政法って楽しい！」と思えるようになりました。自分が法律区分の試験に合格できたのはTAC・Wセミナーの講義のおかげだと感謝しております。

Q 専門試験対策

A 時間との戦い

官庁に落ちたときに行くための民間就活もそれなりに力を入れて行っていたため、自分は勉強に専念するのがかなり遅くなりました。忙しかった2月までは答練の復習を中心に行い、民間就活が落ち着いた3月以降から択一対策に本腰を入れました。毎日深夜までひたすら択一の問題演習を解き復習しテキスト・判例集を読み漁る日々で、特に試験1ヶ月前からは3時に一旦寝ようとしても不安で寝付けず追加で2時間起きて5時まで勉強する...といった生活を過ごしました。打って変わって論文試験は択一試験前に答練の復習をして凡そ一通り済んでいたことから、一次試験後に比較的ゆったりペースで勉強して間に合いました。

Q 公開模試の活用法

A 勉強のペースメーカー

専門試験の公開模試が2週間ごとに行われるので、それを通じて自分の苦手分野を発見するとともに次回模試に向けてその苦手を克服しようと一定の勉強目標を立てて取り組んでいった結果、勉強の計画をうまく作り続けていくことができました。公開模試は問題自体が学習に役立つのは勿論ですが、スケジュール作りにも凄く活用できると思います。

Q 効率的学習法

A 演習を挟む

答練講義に参加して論文試験の模擬問題を実際に自分で解き解説を聞く中で、「あつ、この法律ってこうやって使うんだ」というのがより深く分かるようになると思います。一通り体系的な学習が済んだ後に論文試験の演習を解いてみる、というのは「既存の知識を繋げる」「自分に足りない知識を発見する」の両面においてメリットがあり、勉強の効率性向上にとっても良いと思います。

Q これから受験する人へアドバイス

A 自分の思いに立ち返って！

教養区分に落ちたとき、試験を受けてもどうせ受からない、もし受かってその後には官庁訪問があり採用までのプロセスはとて長いし自分には受からない...と落ち込んでいました。しかし、自分のやりたいことは何かを省みる度に、「将来に自分の人生を振り返って後悔することだけはしたくない」という思いが強まりめげずに勉強・対策に励む原動力になりました。辛い時、諦めそうになった時、自信喪失してしまった時は「なぜ官庁で働きたいのか」「自分が一生をかけてやりたいことは何か」という自分の中核を形成する思いに立ち返ってみると良いかもしれません。